

キャリア開発ラダー指標

	新人(入職1年目)	レベルI	レベルII	レベルIII	レベルIV	管理者
到達目標	<p>マニュアルに沿った基本的な看護が実践できる</p> <p>1.指導を受けながら、日常生活援助のための基本的知識・技術を身につける</p> <p>2.ケアについて、規定のフォームを使用し、指導のもと情報収集ができる</p> <p>3.医療安全対策・感染対策・防災対策マニュアルの内容を知り、指導のもと行動できる</p> <p>4.キャリア開発ラダープログラムを理解し自己の目標設定ができる</p> <p>5.社会人としての基本的態度を身につける</p>	<p>担当看護師として自立している</p> <p>1.日常生活援助のための基本的知識、技術を身につける</p> <p>2.所属部署のメンバーとしての役割と責任を果たすことができる</p> <p>3.医療安全対策・感染対策・防災対策マニュアルの内容を知り、指導のもと行動できる</p> <p>4.キャリア開発ラダープログラムを理解し目標設定ができる</p> <p>5.看護職としての態度を身につける</p>	<p>担当看護師として自立しリポーターの役割がとれる</p> <p>1.看護過程を踏まえた個別のケアが実践できる</p> <p>2.業務において担当看護師およびリポーターとしての役割と責任を果たすことができる</p> <p>3.医療安全対策・感染対策・防災対策マニュアルに基づき自立して行動することができる</p> <p>4.キャリア開発ラダープログラムを理解し、積極的に参加することができる</p> <p>5.看護職としての態度を身につける</p>	<p>チームメンバーとして自立している</p> <p>1.チーム内でのリーダーシップを発揮できる</p> <p>2.業務および看護チームに対して指導ができる</p> <p>3.医療安全対策・感染対策・防災対策マニュアルに基づき実践し指導することができる</p> <p>4.自身のキャリア開発についての方向性を持ち、それに向かって行動できる</p> <p>5.リポーターとしてメンバーの人間関係を調整できる</p>	<p>エキスパートとして自立している</p> <p>1.専門領域の看護師として創造的な看護実践を推進し、役割モデルになることができる</p> <p>2.患者ニーズとスタッフの能力を考慮し、業務管理ができる</p> <p>3.看護実践の質を向上させるために主体的に取り組むことができる</p> <p>4.キャリア開発ラダープログラムの自己資源となることのできる</p> <p>5.他の医療チームとの良好な人間関係を築き支えあえることができる</p>	<p>部署の管理であり病院組織に貢献する</p> <p>1.単位における課題を明確にし、目標を示しながら管理行動がとれる</p> <p>2.看護実践の質を向上させるための業務改善を推進し、状況を判断しながら積極的に病院組織の改革に参画する</p> <p>3.キャリア開発ラダープログラムを活用し患者および職員を安全に育てる</p> <p>4.部署の研究活動に対してアドバイザーとなる</p> <p>5.キャリア開発ラダーで、全スタッフの到達レベルを確認し、効果的な目標設定を導き人材育成をはかる</p>
看護実践	<p>S-1.看護ケアに必要な基本的知識(バイタルサイン・検査値などの正常値、所属部署の代表的な疾患の病態生理、治療、処置)を収集し実践に生かすことができる</p> <p>S-2.対象について、規定のフォームを使用し、指導のもと情報収集ができる</p> <p>S-3.指導のもと計画(対応策)を立てることができる</p> <p>S-4.看護過程に沿って、マニュアルに沿ったケアを計画通り実践できる</p> <p>S-5.患者の急変時に指示を受け行動できる</p> <p>S-6.指導のもと看護ケアが記録できる</p> <p>S-7.患者の急変時に指示を受け行動できる</p> <p>S-8.指導のもと看護ケアが記録できる</p> <p>S-9.指導のもと実践したケアについて自己評価ができる</p> <p>S-10.看護過程についての疑問や不明な点を質問し整理することができる</p>	<p>S-1.看護ケアに必要な基本的知識を活用できる</p> <p>S-2.対象について、規定のフォームを活用し、意図的に情報収集ができる</p> <p>S-3.自立して問題点を挙げることができる</p> <p>S-4.横断に基づいたケアであることを確認し、実践できる</p> <p>S-5.患者の急変時には指示を受け的確に行動できる</p> <p>S-6.看護ケアが記録・報告できる</p> <p>S-7.患者の急変時に指示を受け行動できる</p> <p>S-8.指導のもと看護ケアが記録できる</p> <p>S-9.指導のもと実践したケアについて自己評価ができる</p> <p>S-10.看護過程についての疑問や不明な点を質問し整理することができる</p>	<p>S-1.看護ケアに必要な基本的知識を、横断に基づき活用できる</p> <p>S-2.対象の全体像がとらえられるように、身体的側面だけでなく精神的・社会的側面から情報収集ができる</p> <p>S-3.優先順位に基づき問題点を挙げることができる</p> <p>S-4.状況全体をふまえた計画(対応策)を立てることができる</p> <p>S-5.計画に基づき個別のケアができる</p> <p>S-6.患者の急変時には支援を受けながら対応できる</p> <p>S-7.看護過程に沿って看護ケアが記録・報告できる</p> <p>S-8.患者の急変時に指示を受け行動できる</p> <p>S-9.指導のもと看護ケアが記録できる</p> <p>S-10.実践したケアについて自己評価ができる</p> <p>S-11.看護過程についての疑問や不明な点を質問し整理することができる</p>	<p>S-1.専門領域における知識を深め活用できる</p> <p>S-2.対象が不安を表現できるようなコミュニケーション技術を用いて、意図的に情報収集ができる</p> <p>S-3.状況に応じた優先順位が決定できる</p> <p>S-4.状況全体をふまえた計画(対応策)を立てることができる</p> <p>S-5.的確な看護技術を用いてケアができる</p> <p>S-6.患者急変時にリーダーシップを発揮し対応できる</p> <p>S-7.看護過程に沿って看護ケアが記録・報告できる</p> <p>S-8.患者急変時に指示を受け行動できる</p> <p>S-9.指導のもと看護ケアが記録できる</p> <p>S-10.実践したケアについて自己評価ができる</p> <p>S-11.看護過程についての疑問や不明な点を質問し整理することができる</p>	<p>S-1.専門領域における知識を深め横断に基づき活用できる</p> <p>S-2.問題の領域に的を絞り、選択的に情報収集し、他の医療チームからも意図的に情報収集を行うことができる</p> <p>S-3.状況に応じた優先順位が決定できる</p> <p>S-4.状況全体をふまえた計画(対応策)を立てることができる</p> <p>S-5.的確な看護技術を用いてケアができる</p> <p>S-6.患者急変時にリーダーシップを発揮し対応できる</p> <p>S-7.看護過程に沿って看護ケアが記録・報告できる</p> <p>S-8.患者急変時に指示を受け行動できる</p> <p>S-9.指導のもと看護ケアが記録できる</p> <p>S-10.実践したケアについて自己評価ができる</p> <p>S-11.看護過程についての疑問や不明な点を質問し整理することができる</p>	<p>S-1.対象をエンパワメントできるコミュニケーションがとれる</p> <p>S-2.問題の領域に的を絞り、選択的に情報収集し、他の医療チームからも意図的に情報収集を行うことができる</p> <p>S-3.状況に応じた優先順位が決定できる</p> <p>S-4.状況全体をふまえた計画(対応策)を立てることができる</p> <p>S-5.的確な看護技術を用いてケアができる</p> <p>S-6.患者急変時にリーダーシップを発揮し対応できる</p> <p>S-7.看護過程に沿って看護ケアが記録・報告できる</p> <p>S-8.患者急変時に指示を受け行動できる</p> <p>S-9.指導のもと看護ケアが記録できる</p> <p>S-10.実践したケアについて自己評価ができる</p> <p>S-11.看護過程についての疑問や不明な点を質問し整理することができる</p>
管理	<p>S-11.病院の機能、役割を理解する</p> <p>S-12.病院および看護部の理念を理解する</p> <p>S-13.所属部署の特性と業務内容について理解する</p> <p>S-14.部署目標を理解し実践に協力する</p> <p>S-15.チームメンバーの役割、機能を理解する</p> <p>S-16.物品管理システム(SPD)を知る</p> <p>S-17.業務に必要物品の備蓄がわかる</p> <p>S-18.血液製剤の特性を知り、適切に請求・受領・保管できる</p> <p>S-19.医療安全対策・感染対策・防災対策マニュアルを全て指導を受けながら行動できる</p> <p>S-20.インシデント・レポートの調査・記入方法を理解する</p> <p>S-21.医療安全対策・感染対策・防災対策マニュアルを全て指導を受けながら行動できる</p> <p>S-22.災害時の連絡体制について知っている</p>	<p>S-11.病院の機能、役割を説明できる</p> <p>S-12.病院および看護部の理念を理解し行動することができる</p> <p>S-13.所属部署の特性と業務内容について理解する</p> <p>S-14.部署目標を理解し実践に協力する</p> <p>S-15.チームメンバーの役割、機能を理解する</p> <p>S-16.物品管理システム(SPD)を知る</p> <p>S-17.業務に必要物品の備蓄がわかる</p> <p>S-18.血液製剤の特性を知り、適切に請求・受領・保管できる</p> <p>S-19.医療安全対策・感染対策・防災対策マニュアルを全て指導を受けながら行動できる</p> <p>S-20.インシデント・レポートの調査・記入方法を理解する</p> <p>S-21.医療安全対策・感染対策・防災対策マニュアルを全て指導を受けながら行動できる</p> <p>S-22.災害時の連絡体制について知っている</p>	<p>S-11.病院の機能、役割を説明できる</p> <p>S-12.病院および看護部の理念を理解し行動することができる</p> <p>S-13.所属部署の特性と業務内容について理解する</p> <p>S-14.部署目標を理解し実践に協力する</p> <p>S-15.チームメンバーの役割、機能を理解する</p> <p>S-16.物品管理システム(SPD)を知る</p> <p>S-17.業務に必要物品の備蓄がわかる</p> <p>S-18.血液製剤の特性を知り、適切に請求・受領・保管できる</p> <p>S-19.医療安全対策・感染対策・防災対策マニュアルを全て指導を受けながら行動できる</p> <p>S-20.インシデント・レポートの調査・記入方法を理解する</p> <p>S-21.医療安全対策・感染対策・防災対策マニュアルを全て指導を受けながら行動できる</p> <p>S-22.災害時の連絡体制について知っている</p>	<p>S-11.病院の機能、役割を説明できる</p> <p>S-12.病院および看護部の理念を理解し行動することができる</p> <p>S-13.所属部署の特性と業務内容について理解する</p> <p>S-14.部署目標を理解し実践に協力する</p> <p>S-15.チームメンバーの役割、機能を理解する</p> <p>S-16.物品管理システム(SPD)を知る</p> <p>S-17.業務に必要物品の備蓄がわかる</p> <p>S-18.血液製剤の特性を知り、適切に請求・受領・保管できる</p> <p>S-19.医療安全対策・感染対策・防災対策マニュアルを全て指導を受けながら行動できる</p> <p>S-20.インシデント・レポートの調査・記入方法を理解する</p> <p>S-21.医療安全対策・感染対策・防災対策マニュアルを全て指導を受けながら行動できる</p> <p>S-22.災害時の連絡体制について知っている</p>	<p>S-11.患者ニーズとスタッフの能力を考慮し、業務管理ができる</p> <p>S-12.看護管理上の意見やその弊害の改善方法を検討し、ともに考えることができる</p> <p>S-13.所属部署の方針に基づいて活動を推進し、その達成度の評価に参加することができる</p> <p>S-14.業務改善に積極的に意見を述べることができる</p> <p>S-15.病棟の委員会・会議に積極的に参加し、自分の役割に基づいて活動することができる</p> <p>S-16.業務改善の推進に積極的に参加し、その達成度の評価に参加することができる</p> <p>S-17.業務改善の推進に積極的に参加し、その達成度の評価に参加することができる</p> <p>S-18.業務改善の推進に積極的に参加し、その達成度の評価に参加することができる</p> <p>S-19.業務改善の推進に積極的に参加し、その達成度の評価に参加することができる</p> <p>S-20.業務改善の推進に積極的に参加し、その達成度の評価に参加することができる</p>	<p>S-11.病院の理念・目的をスタッフに浸透させる</p> <p>S-12.看護管理の目標・方針をスタッフに熟知し、業務の方針・目標を浸透させる</p> <p>S-13.所属部署の方針に基づいて活動を推進し、その達成度の評価に参加することができる</p> <p>S-14.業務改善に積極的に意見を述べることができる</p> <p>S-15.病棟の委員会・会議に積極的に参加し、自分の役割に基づいて活動することができる</p> <p>S-16.業務改善の推進に積極的に参加し、その達成度の評価に参加することができる</p> <p>S-17.業務改善の推進に積極的に参加し、その達成度の評価に参加することができる</p> <p>S-18.業務改善の推進に積極的に参加し、その達成度の評価に参加することができる</p> <p>S-19.業務改善の推進に積極的に参加し、その達成度の評価に参加することができる</p> <p>S-20.業務改善の推進に積極的に参加し、その達成度の評価に参加することができる</p>
教育研究	<p>S-23.キャリア開発ラダープログラムを理解し、自己の目標設定ができる</p> <p>S-24.病棟や院内の勉強会に参加する</p> <p>S-25.研修報告が記入できる</p> <p>S-26.看護に関わる法律を知っている</p>	<p>S-23.キャリア開発ラダープログラムを理解し、自己の目標設定ができる</p> <p>S-24.病棟や院内の勉強会に参加する</p> <p>S-25.研修報告が記入できる</p> <p>S-26.看護に関わる法律を知っている</p>	<p>S-23.キャリア開発ラダープログラムを理解し、自己の目標設定ができる</p> <p>S-24.病棟や院内の勉強会に参加する</p> <p>S-25.研修報告が記入できる</p> <p>S-26.看護に関わる法律を知っている</p>	<p>S-23.キャリア開発ラダープログラムを理解し、自己の目標設定ができる</p> <p>S-24.病棟や院内の勉強会に参加する</p> <p>S-25.研修報告が記入できる</p> <p>S-26.看護に関わる法律を知っている</p>	<p>S-23.キャリア開発ラダープログラムを理解し、自己の目標設定ができる</p> <p>S-24.病棟や院内の勉強会に参加する</p> <p>S-25.研修報告が記入できる</p> <p>S-26.看護に関わる法律を知っている</p>	<p>S-23.キャリア開発ラダープログラムを理解し、自己の目標設定ができる</p> <p>S-24.病棟や院内の勉強会に参加する</p> <p>S-25.研修報告が記入できる</p> <p>S-26.看護に関わる法律を知っている</p>
対人関係・倫理	<p>S-27.社会人としての基本的態度(あいさつ、身だしなみ、体言敬語)を身につける</p> <p>S-28.自分自身の感情・思考・行動の傾向を知り自己愛することができる</p> <p>S-29.自分の思いや考えを他者に伝えることができる</p> <p>S-30.公務員倫理を理解する</p> <p>S-31.看護職能団体の活動について理解する</p> <p>S-32.日本看護協会の「看護者の倫理綱領」を知る</p> <p>S-33.患者の尊厳・プライバシーを尊重する</p>	<p>S-27.看護職としての態度を身につける</p> <p>S-28.自分自身の感情・思考・行動の傾向を知り自己愛することができる</p> <p>S-29.自分の思いや考えを他者に伝えることができる</p> <p>S-30.公務員倫理を理解する</p> <p>S-31.看護職能団体の活動について理解する</p> <p>S-32.日本看護協会の「看護者の倫理綱領」を知る</p> <p>S-33.患者の尊厳・プライバシーを尊重する</p>	<p>S-27.組織人としての接遇を高める</p> <p>S-28.自分自身の感情・思考・行動の傾向を知り自己愛することができる</p> <p>S-29.自分の思いや考えを他者に伝えることができる</p> <p>S-30.公務員倫理を理解する</p> <p>S-31.看護職能団体の活動について理解する</p> <p>S-32.日本看護協会の「看護者の倫理綱領」を知る</p> <p>S-33.患者の尊厳・プライバシーを尊重する</p>	<p>S-27.組織人としての接遇を高める</p> <p>S-28.自分自身の感情・思考・行動の傾向を知り自己愛することができる</p> <p>S-29.自分の思いや考えを他者に伝えることができる</p> <p>S-30.公務員倫理を理解する</p> <p>S-31.看護職能団体の活動について理解する</p> <p>S-32.日本看護協会の「看護者の倫理綱領」を知る</p> <p>S-33.患者の尊厳・プライバシーを尊重する</p>	<p>S-27.組織人としての接遇を高める</p> <p>S-28.自分自身の感情・思考・行動の傾向を知り自己愛することができる</p> <p>S-29.自分の思いや考えを他者に伝えることができる</p> <p>S-30.公務員倫理を理解する</p> <p>S-31.看護職能団体の活動について理解する</p> <p>S-32.日本看護協会の「看護者の倫理綱領」を知る</p> <p>S-33.患者の尊厳・プライバシーを尊重する</p>	<p>S-27.組織人としての接遇を高める</p> <p>S-28.自分自身の感情・思考・行動の傾向を知り自己愛することができる</p> <p>S-29.自分の思いや考えを他者に伝えることができる</p> <p>S-30.公務員倫理を理解する</p> <p>S-31.看護職能団体の活動について理解する</p> <p>S-32.日本看護協会の「看護者の倫理綱領」を知る</p> <p>S-33.患者の尊厳・プライバシーを尊重する</p>
院内	<p>・オリエンテーション</p> <p>・教育プログラムについて</p> <p>・医療安全</p> <p>・電子カルテの操作</p> <p>・看護</p> <p>・呼吸器について</p> <p>・血液製剤について</p> <p>・看取りの看護</p> <p>・救急時の対応と看護</p> <p>・感染管理</p> <p>・公務員倫理</p>	<p>・EKG研修 (2年目必修) 時間内研修 3回</p> <p>・事例検討 (2年目必修) 時間内研修</p> <p>・ICLS研修 (2年目必修) 時間内研修</p> <p>・看護研究とは ①</p> <p>・フィジカルアセスメント ②</p> <p>・コミュニケーションスキル ③</p> <p>・リフレッシュ研修 ④</p> <p>※院内講師</p> <p>※院内共通研修のうち2つ以上を必須とする</p>	<p>・プリセプター実践OJT</p> <p>・アサーション ②</p> <p>・フィジカルアセスメント色変替 ③</p> <p>・呼吸器疾患と呼吸器の取り扱い ④</p> <p>※院内講師</p> <p>※院内共通研修のうち2つ以上を必須とする</p>	<p>・コミュニケーション ①</p> <p>・リーダーシップ研修 ②</p> <p>・診療報酬削減 ③</p> <p>※院内講師</p> <p>※院内共通研修のうち2つ以上を必須とする</p>	<p>・業務改善 ①</p> <p>・看護の質評価 ②</p> <p>・組織論 ③</p> <p>・目標管理 ④</p> <p>・エンパワメント研修 ⑤</p> <p>※院内講師</p> <p>※院内共通研修のうち2つ以上を必須とする</p>	
研修計画	<p>・医療倫理</p> <p>・キャリア支援</p> <p>・看護必要度</p> <p>・ICLS研修</p> <p>・感染管理</p> <p>・医療安全</p> <p>・接遇</p> <p>・災害看護</p> <p>・緩和ケア</p> <p>・化学療法</p> <p>・摂食療法</p> <p>・メンタルヘルス</p> <p>・看護研究計画書の書き方</p> <p>・看護研究における統計処理</p> <p>・リフレッシュ研修アロマ</p> <p>※院内講師</p> <p>※院内共通研修のうち2つ以上を必須とする</p>	<p>・医療倫理</p> <p>・キャリア支援</p> <p>・看護必要度</p> <p>・ICLS研修</p> <p>・感染管理</p> <p>・医療安全</p> <p>・接遇</p> <p>・災害看護</p> <p>・緩和ケア</p> <p>・化学療法</p> <p>・摂食療法</p> <p>・メンタルヘルス</p> <p>・看護研究計画書の書き方</p> <p>・看護研究における統計処理</p> <p>・リフレッシュ研修アロマ</p> <p>※院内講師</p> <p>※院内共通研修のうち2つ以上を必須とする</p>	<p>・医療倫理</p> <p>・キャリア支援</p> <p>・看護必要度</p> <p>・ICLS研修</p> <p>・感染管理</p> <p>・医療安全</p> <p>・接遇</p> <p>・災害看護</p> <p>・緩和ケア</p> <p>・化学療法</p> <p>・摂食療法</p> <p>・メンタルヘルス</p> <p>・看護研究計画書の書き方</p> <p>・看護研究における統計処理</p> <p>・リフレッシュ研修アロマ</p> <p>※院内講師</p> <p>※院内共通研修のうち2つ以上を必須とする</p>	<p>・医療倫理</p> <p>・キャリア支援</p> <p>・看護必要度</p> <p>・ICLS研修</p> <p>・感染管理</p> <p>・医療安全</p> <p>・接遇</p> <p>・災害看護</p> <p>・緩和ケア</p> <p>・化学療法</p> <p>・摂食療法</p> <p>・メンタルヘルス</p> <p>・看護研究計画書の書き方</p> <p>・看護研究における統計処理</p> <p>・リフレッシュ研修アロマ</p> <p>※院内講師</p> <p>※院内共通研修のうち2つ以上を必須とする</p>	<p>・医療倫理</p> <p>・キャリア支援</p> <p>・看護必要度</p> <p>・ICLS研修</p> <p>・感染管理</p> <p>・医療安全</p> <p>・接遇</p> <p>・災害看護</p> <p>・緩和ケア</p> <p>・化学療法</p> <p>・摂食療法</p> <p>・メンタルヘルス</p> <p>・看護研究計画書の書き方</p> <p>・看護研究における統計処理</p> <p>・リフレッシュ研修アロマ</p> <p>※院内講師</p> <p>※院内共通研修のうち2つ以上を必須とする</p>	
院外(参考)	<p>看護協会主催レベルI以上</p>	<p>看護協会主催レベルII以上</p>	<p>看護協会主催レベルIII以上</p> <p>臨床指導者養成</p> <p>認定看護師研修</p>	<p>看護協会主催レベルIII以上</p> <p>看護研究指導者養成</p> <p>認定看護師研修</p> <p>認定看護師研修</p>	<p>看護協会主催レベルIII以上</p> <p>看護協会、自治体病院、民間研修</p> <p>管理者研修</p>	